



美里町長 原田 信次氏

町長のメッセージ

美里町は、埼玉県北西部に位置し、田園風景の広がる自然豊かな町です。ブルーベリーの産地として知られているほか、寄居スマートICにより、北関東と甲信越方面、東京方面へのアクセスも良好です。

現在、埼玉版スーパー・シティプロジェクトを中心に町の拠点づくりを進めており、町民の利便性や交流を図るとともに近郊からの来客も想定した商業施設の誘致に力を入れています。

今後も、美里町の基本理念である「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

はじめに

美里町は、埼玉県の北西部に位置し、東は深谷市、南は長瀨町・寄居町、北と西は本庄市と接している。「美里」という名のとおり、自然豊かな田園風景が広がる美しいまちで、春から秋にかけてカタクリ、蓮の花、彼岸花などが咲き、色とりどりに色づく。

鉄道はJR八高線が町内を横断し、町の中央部に松久駅があるほか、上越・北陸新幹線の本庄早稲田駅へのアクセスもよい。道路は国道254号と関越自動車道が町内を走り、本庄児玉ICや花園IC、寄居スマートICが身近に利用できる。

農作物の栽培が盛んで、ブルーベリーは日本有数の産地として知られている。6月中旬から9月初旬にかけて観光農園が開園し、収穫体験もできる。また、生活習慣病や認知症などの予防に効果があると言われていたエゴマの生産も盛んで、エゴマ油はふるさと納税の返礼品としても人気がある。

この地域の歴史は古く、貴重な遺跡が多数点在している。松久駅に近い遺跡の森総合公園内の遺跡の森館では、歴史のロマンを感じる出土品を多数見ることができる。また、毎年8月15日に行われる盆行事で、国指定重要無形民俗文化財である「いのまた ひやくはつとう猪俣の百八燈」(表紙写真)は400年以上の歴史を持つ。堂前山の尾根に築かれた108基の塚に火をともし幻想的な行事で、6歳から18歳までの青少年だけで行われるのが特色だ。

美里 Super Town プロジェクトがスタート

美里町は、町全体が豊かな自然環境にある一方、商店街や市街地がないため、生活や消費活動が町外に依存しているという課題がある。今後、高齢化がさらに進むこともあり、生活利便性の向上と自然の多面的活用による持続可能なまちづくりを行うべく、昨年3月にまちづくりの計画を新たに策定した。町ではこのまちづくりを、埼玉県が推進している埼玉版スーパー・シティプロジェクトに位置づけ、「美里 Super Town プロジェクト」として推進している。埼玉版スーパー・シティプロジェクトとは暮らしやすい埼玉の実現に寄与する事業で、「コンパクト」「スマート」「レジリエント」の3つを要件としている。

構想としては、町役場や松久駅周辺を「まちづくり中心拠点地区」として、新たに商業施設、産業団地、地元の農産物直売所などを設置する計画となっている。町内に分散している小学校3校、中学校1校については、小中一貫校としてこの地区に集約する。



陣見山山頂付近からの眺望

美里町概要

人口(2024年8月1日現在)	10,738人
世帯数(同上)	4,603世帯
平均年齢(2024年1月1日現在)	50.9歳
面積	33.41km ²
製造業事業所数(経済構造実態調査)	49所
製造品出荷額等(同上)	1,130.8億円
卸・小売業事業所数(経済センサス)	58店
商品販売額(同上)	155.2億円
公共下水道普及率	7.1%
舗装率	53.9%

資料:「令和5年埼玉県統計年鑑」ほか



主な交通機関

- JR八高線 松久駅
- 関越自動車道 寄居スマートICから町役場まで約1.5km
本庄児玉ICから町役場まで約7km

買い物や食事、医療、交流等の日常生活に必要な都市機能をまちづくり中心拠点地区に集約することで、地域経済を活性化することも目指している。

● 陣見山の森林整備を戸田市と連携して実施

町内には陣見山という標高531mのハイキングに適した山がある。従来、山頂付近には森林経営計画に基づく森林があり、眺望が妨げられていた。そこで町では、計画による伐採を機に、姉妹都市である戸田市と連携して、山頂付近の森林整備に乗り出した。山頂付近の森林は令和4年9月から翌年3月にかけて伐採され、雄大な関東平野の景色が望めるようになった。今後、紅葉する樹木約4,000本を植林する予定だ。伐採された樹木は木造8階建てビルの耐震の格子に使われた。

整備する森林について戸田市が「埼玉県森林CO₂吸収量認証制度」の認証を受ける計画で、戸田市で発生する二酸化炭素排出量と相殺し、年間約11.5トンのカーボンオフセットが実現される見通しだ。また、森林整備の費用については、国から戸田市に交付された森林環境譲与税が使われる。

美里町には森林が多く、伐採した木を活用していくことも課題だ。「まちづくり中心拠点地区」に新たに開設される小中一貫校の校舎についても、町の木を使った木造にすることを計画している。

樹木が成長するのには時間がかかるが、陣見山が新たな紅葉スポットとなるのが、楽しみだ。

● スポーツイベントを多数開催

町民の移動手段が自動車中心の美里町は、町民の生活習慣病のリスクが高かったため、平成29年度から20歳以上の希望する町民を対象に歩数計を配付するなど、“健幸”ポイント事業を行ってきた。このポイント事業には、高齢者中心に多くの方が参加し、県からも表彰を受けたが、働く世代の参加がやや少ないという課題があった。

そこで、町では健康への取り組みに、働く世代も参加できるよう、令和2年度・3年度にコロナ禍により中止となっていた町民体育祭に代わる新たなスポーツイベントを、令和4年度から開催することとした。

昨年度は多数の大規模スポーツイベントのほか、ヨガやダンスなど、クラブ活動形式で実施する多種目の運動教室を開催した。高齢者だけではなく、働く世代も多数参加し、心とからだの健康増進を図った。
(太田富雄)



スポーツイベントの様子